

“技術士を目指し、共に迷い、共に歩み、報われる努力！”

第 15 期 PE 道場受講者の募集

技術者の技術力向上を目的に、PE（Professional Engineer 技術士）道場を平成 18 年度から実施し、その結果として、PE 道場から **37 名（うち第 13 期は 5 名の合格者）** の技術士を輩出することができました（第 14 期は筆記合格者が 5 名、現在、口頭模擬試験実施中）。

この受験講座は、技術士第二次試験の合格を**本気で**目指す技術者（建設会社、コンサルタント、公務員、年齢等は問いません。）を支援するために開講します。

<試験制度の概要> ※2019 年より試験の方法が変わりました。下の表のとおりです。

<筆記試験(総合技術監理部門を除く技術部門)>

試験科目	改正前 <～平成 30 年度>				改正後 <平成 31（2019）年度～>			
	問題の種類	試験方法	試験時間	配点	問題の種類	試験方法	試験時間	配点
必須科目	「技術部門」 全般にわたる 専門知識	択一式 20 問出題 15 問解答	1 時間 30 分	30 点	「技術部門」全 般にわたる専門 知識、応用能力、 問題解決能力及 び課題遂行能力 に関するもの	記述式 出題数は 2 問 程度 600 字詰用紙 3 枚以内	2 時間	40 点
選択科目	「選択科目」 に関する専門 知識及び 応用能力	記述式 出題数は回答 数の 2 倍程度 600 字詰用紙 4 枚以内	2 時間	40 点	「選択科目」に ついての専門知 識及び応用能力 に関するもの	記述式 出題数は回答 数の 2 倍程度 600 字詰用紙 3 枚以内	3 時間	30 点
	「選択科目」 に関する課 題解決能力	記述式 出題数は 2 問 程度 600 字詰用紙 3 枚以内	2 時間	40 点	「選択科目」に ついての問題解 決能力及び課題 遂行能力に關す るもの	記述式 出題数は 2 問 程度 600 字詰用紙 3 枚以内	30 分 ※ 選択科目 の試験中 休憩時間 はありま せん。	30 点

※総合技術監理部門については変更無し

主 催： NPO 法人技術交流フォーラム

資 格： 技術士第二次試験受験資格を有するもの

（一次試験合格者で資格要件に該当する実務経験を有する者）

“必ず合格してやる！”という思いを有するもの

内 容 : 『総合技術監理部門を除く技術部門』を対象とし、以下の項目を実施します。

- ◆ オリエンテーション、経歴書の書き方、国土交通白書の見方
 - ◆ 論文の書き方の基本、選択科目対策（論文作成とグループ討議）
 - ・実施予定期間は、12月～翌年7月までです。
 - ・受講者が決まり次第、12月にオリエンテーションを実施し、6月に模擬試験を行います。
 - ・論文添削指導は、グループ討議の他に、担当講師や受講生間とのメールなどにより、講師と受講生が納得のいくまで繰り返し実施する方法です。（添削回数：無制限）
 - ◆ 受講生に沿った支援（2コース）をご用意しました。 **New!!**
 - ・Aコース（受験回数が複数回）：毎月1回（第2土曜日）、計8回
 - ・Bコース（未経験者、希望者）：毎月2回（第2・4土曜日）、計13回 ← 新設コース！
- ※別紙「PE道場タイムスケジュール（案）」を参照して下さい。

指導者 : 技術士保有者から適宜募集。指導方針についての協議等を実施。

勉強日 : 土曜日（10時～16時）を想定しております。

詳細は、PE道場タイムスケジュール（予定）をもとにオリエンテーション時に説明いたします。

場 所 : 基本的には、佐賀市内です。（都合により、毎回同じ会場でないこともあります。）

受講費 :

- Aコース（受験回数が複数回）：5万円（NPO法人技術交流フォーラム会員及び賛助会員：3万円）
- Bコース（未経験者、希望者）：7万円（NPO法人技術交流フォーラム会員及び賛助会員：4万円）

応 募 : 希望者は、**12月12日(木)17時まで**に、下記の連絡先にメールして下さい。
必要書類を返信します。

連絡先：研修委員長 福岡 仁

メール：fukuoka@asahi-tc.jp

Tel：0952-37-9300、Fax：0952-37-9301

（朝日テクノ(株)、佐賀市大和町大字梅野 280 番地）

開設日 : 12月21日（土）オリエンテーションを実施（予定）

※開催場所および時間、必要書類について、申込者へメールにて連絡いたします。

◆年間スケジュール（オリエンテーション～筆記試験まで）

PE 道場タイムスケジュール（予定）

	試験スケジュール	Aコース	Bコース
12月		オリエンテーション（12/21） <ul style="list-style-type: none"> ✚ 受講に当てる心構え（各人の勉強方法とモチベーション維持） ✚ 講師との経歴について議論（経歴書の書き方、経歴の棚卸し）など 	
1月		第1回（1/11） <ul style="list-style-type: none"> ✚ 経験論文に関する内容討議 ✚ 過去問題の傾向分析と勉強方法の確認 	第1'回（1/25） <ul style="list-style-type: none"> ✚ 経験論文に関する内容討議 ✚ 論文の書き方（文章作法など）
2月		第2回（2/8） <ul style="list-style-type: none"> ✚ 専門（基礎、応用）① グループ討議 ✚ 論文の書き方（文章作法など） 	第2'回（2/22） <ul style="list-style-type: none"> ✚ 専門（基礎、応用）①' グループ討議 ✚ 論文の書き方（建設一般など）
3月		第3回（3/14） <ul style="list-style-type: none"> ✚ 建設一般① グループ討議 	第3'回（3/28） <ul style="list-style-type: none"> ✚ 建設一般①' グループ討議 ✚ 経験論文の最終チェック
4月	【受験申込書配布期間】 4月1日～24日	第4回（4/11） <ul style="list-style-type: none"> ✚ 建設一般②、専門（課題解決）① グループ討議 …論文の添削を踏まえたグループ討議および指導 	第4'回（4/25） <ul style="list-style-type: none"> ✚ 建設一般②' ✚ 専門（課題解決）①'
	【受験申込受付期間】 4月8日～24日		
5月		第5回（5/9） <ul style="list-style-type: none"> ✚ 専門（課題解決）②、専門（基礎、応用）② グループ討議 …論文の添削を踏まえたグループ討議および指導 	第5'回（5/23） <ul style="list-style-type: none"> ✚ 専門（課題解決）②' ✚ 専門（基礎、応用）②'
6月		第6回（6/13） <ul style="list-style-type: none"> ✚ 模擬試験（筆記試験） ※本番と同じ時間割での想定問題を実施 	
		第7回（6/27） <ul style="list-style-type: none"> ✚ 模擬試験に対するグループ討議 ✚ 試験当日まで2週間の過ごし方 	
7月	【筆記試験】 7月13日（予想）		

◆年間スケジュール（筆記試験～口頭試験まで）

PE 道場タイムスケジュール（予定）

	試験スケジュール	Aコース	Bコース
8月		<復元論文の作成>	
9月			
10月	筆記試験合格発表		
11月		模擬試験（口頭試験）：合格者対象 ↓想定問答作成支援 ↓個別の模擬面接試験（2回）	
12月	口頭試験		

※記載内容は予定であり、受講生のレベルや人数などにより、変更の可能性があります。

※添削指導は、PE 道場開始と同時に随時実施します。

※Aコース（受験回数が複数回）とBコース（未経験者または希望者）を用意しました。

【PE 道場の3つの遵守事項】

- 講師の方々は、日常業務を行いながら支援していただくため、礼節を持って対応していただきますようお願いいたします。（例）メールの対応（既読スルーや返信しない）、連絡を行わず講義の欠席・遅延 など
- 受講者は、筆記試験（口頭試験を含む。）の結果については、遅延なく報告してください。
- 合格者は、合格体験記を必ず作成し、報告していただきます。

PE 道場受講者 合格体験記

【佐賀県内の建設コンサルタント技術者 Nさん（43歳）】

技術士以外の資格をあらかじめ取得し、最終目標であった技術士取得を目指して独学で勉強していましたが、2年連続で不合格という結果でした。そのため、勉強のやり方が根本的に間違っているのではと考え、PE道場を受講することにしました。

PE道場では、実務経験豊富な講師陣より熱心にご指導していただき、文章構成の指導、最新の技術・試験情報の提供、論文の添削などを受けることができました。講師陣のご指導を受けたことで、論文構成の稚拙さや知識量の少なさが分かり勉強方法を根本的な部分から見直すことができました。残念ながら受講した年度では合格することができませんでしたが、次年度で無事合格することでき、PE道場を受講していなければ技術士を取得することは困難であったと思います。

ご指導して頂いたすべての方々に感謝するとともに、ご指導頂いたことを実務に生かせるよう日々、研鑽していきたいと考えています。

技術士試験の勉強方法で悩んでいる方はPE道場の受講をお勧めします。

【佐賀県内の建設コンサルタント技術者 Yさん（40歳）】

はじめは二次試験の受験勉強を独学でやっていたが、仕事を理由にあまり勉強しなかったこともあり当然の不合格だった。その後、上司からの勧めもありPE道場で指導を受けることを決め、受講した年には論文の評価で合格点をもらうことができた。

道場では、様々な分野の技術士が講師として参加されているため、自分の専門分野だけではなく多角的な意見を頂くことができ、他の受験者と差をつけることができます。また、道場を通じてお世話になった方々とは、今でも日頃の業務等で様々な情報交換を行うことができ、試験勉強だけでなく技術者としても参加してよかったと思っています。もし参加を悩まれている方がいるなら、一度参加してみることをおすすめします。